

1 改築の考え方

東調布第三小学校は、老朽化（校舎の過半が築 50 年経過）が進んでおり、平成 28 年度改築着手校として、全面改築に向けて、基本構想・基本計画を策定しました。

東調布第三小学校の改築に当たっては、良好な教育環境を確保することを前提として、建物の容積率を活用し、地域特性や行政需要に応じた機能を置き込む複合化を行うことにより、教育と地域力の新たな拠点とします。

- (1) 小学校の教育環境の確保を第一とする。
 - ・ 校舎及び校庭については、日照の良好な場所への配置とする。
 - ・ 校舎は使い易く安全な施設となるような配置とし、校庭面積を十分確保する。
- (2) 複合化に当たっては、学校の適切な教育活動の確保や防犯等を考慮し、学校施設とその他の施設は区分けを行う。

【複合化に向けた3つの視点】

視点①【**教育**】地域力を活かした学校教育の推進（地域との連携、世代間交流・ふれあい）

視点②【**地域**】鶺の木地区の特性に応じたまちづくり

（高齢者の活動・生活支援、地域における保育サービスの充実）

視点③【**公共施設マネジメント**】公共施設の集約・複合化等による

効果的・効率的な施設の整備

2 配置する施設

“教育・子ども”の拠点

● 教育環境の充実と放課後の子どもの安全な居場所づくり

● 子どもの生活環境の向上
⇒ 乳幼児とのふれあいや保育から教育へ切れ目のない生活環境の整備

“地域”の拠点

● 地域のくらしを支える場の充実
⇒ 介護予防や元気維持、社会参加など高齢者がいきいきと暮らせるサポート
⇒ 地域活動における利便性の向上、防災機能の強化

施設機能（一覧）

東調布第三小学校
（放課後ひろば含む）

子育て支援施設

高齢者利用施設

多目的に使える地域活動・世代間交流の場（タイムシェア）

3 現状の配置 及び 改築後ゾーニング案



【参考】施設再配置イメージ図



※ 上記ゾーニング案については、今後の基本設計・実施設計の詳細な検討に伴い、配置等が変更する可能性があります。

4 スケジュール案

年度	29	30	31	32	33	34	35	36	37
工程	基本設計・実施設計			工事期間【重複】		仮設校舎（建設・解体）、新校舎等（建設・解体）、外構整備等			

※ 工事期間中の児童の代替校庭等、良好な教育環境を確保するため、大森第七中学校の工事完了後（平成 34 年度以降）に、着工します。なお、大森第七中学校の工事の進捗に応じて、東調布第三小学校の着工時期が変更する可能性があります。